

## 会 議 録

- 1 附属機関の会議の名称 水戸市観光審議会
- 2 開催日時 平成26年3月20日（木） 午後4時から午後5時15分まで
- 3 開催場所 茨城県三の丸庁舎 3階 会議室A
- 4 出席した者の氏名
  - (1) 委員 中山 義雄, 三上 靖彦, 田口 文明, 玉造 順一, 大橋 章, 林 太一, 石原 栄二, 藤田 好美, 鹿倉 よし江, 久信田 もと子, 仲田 光子, 宮内 久江, 小川 喜治, 岩坂 昌彦, 高橋 睦美, 小川 啓子, 小松崎 節子, 羽石 英司
  - (2) 執行機関 高橋水戸市長, 飯村産業経済部副部長, 白石観光課長, 小川観光課副参事兼課長補佐, 鯉淵観光課企画物産係長, 北井観光課主事
  - (3) その他 株式会社都市環境計画研究所 白江課長  
(水戸市観光基本計画基礎調査業務受託業者)
- 5 議題及び公開・非公開の別
  - (1) 挨拶（公開）
  - (2) 委嘱状交付（公開）
  - (3) 会長及び副会長の選出について（公開）
  - (4) 「水戸市観光基本計画」の策定スケジュールについて（公開）
  - (5) 平成25年度基礎調査結果について（公開）
  - (6) その他（公開）
- 6 非公開の理由
- 7 傍聴人の数（公開した場合に限る。） 0人
- 8 会議資料の名称  
水戸市観光審議会資料, 水戸市観光審議会条例, 水戸市観光審議会委員名簿
- 9 発言の内容  
別紙 会議録のとおり

平成 25 年度 第 1 回水戸市観光審議会 会議録

執行機関 本日は、お忙しい中、また、お足元の悪い中、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。定刻になりましたので、ただ今から、平成 25 年度 第 1 回水戸市観光審議会を始めさせていただきます。  
初めに、高橋靖水戸市長から御挨拶を申し上げます。

市 長 —————挨拶—————

執行機関 それでは、早速ではございますが、お手元の資料の裏面に委員名簿を載せてございますので、こちらの名簿に従いまして、委嘱状の交付をさせていただきたく存じます。時間の関係もございますので、代表していただきまして、名簿の一番上にあります \_\_\_\_\_様にお受け取りいただきたいと思います。前へお進みください。

市 長 —————委嘱状交付—————

執行機関 それ以外の皆様への委嘱状につきましては、お帰りの際にお渡しいたしますので、よろしく願いいたします。  
さて、本日は、委嘱後初めての審議会でございますので、委員さんの御紹介をさせていただきますたく存じます。申し訳ございませんが、 \_\_\_\_\_委員から時計回りで自己紹介をお願いしたいと思います。

委 員 —————自己紹介—————

執行機関 ありがとうございます。次に、執行機関の職員の紹介をさせていただきます。

—————執行機関自己紹介—————

執行機関 次に、本来ですと、ここで議事の進行を会長にお願いするところでございますが、今回は、委嘱後初めての審議会ということで、会長がまだ決まっておりませんので、議事につきましては、会長が選出されるまでの間、暫時、執行機関で進めさせていただきますと思いますが、よろしいでしょうか。

—————異議なしの声—————

執行機関 ありがとうございます。それでは、会議に先立ちまして、本日の出席者数を報告させていただきます。審議会委員 20 名のうち 18 名が出席しており、委員の 2 分の 1 以上の出席がありますので、本審議会は成立しております。  
続きまして、会長及び副会長の選出でございますが、会長及び副会長は水戸市観光審議会条例第 5 条により委員の中から互選により選出していただくこととなりますが、いかがいたしましょうか。

—————執行機関一任の声—————

執行機関 　ただ今執行機関一任との声がございましたので、執行機関から案を述べさせていただきます。

会長には、\_\_\_\_\_委員，副会長には、\_\_\_\_\_委員をお願いしたいと考えておりますが、皆様いかがでしょうか。

—————異議なしの声—————

執行機関 　ありがとうございます。それでは、会長は\_\_\_\_\_委員，副会長は\_\_\_\_\_委員にお願いいたします。\_\_\_\_\_委員には会長席，\_\_\_\_\_委員には副会長席にお移りいただきます。

—————会長・副会長 席移動—————

執行機関 　それではここで\_\_\_\_\_会長から御挨拶をいただきたいと思っております。

会 長 　—————挨拶—————

執行機関 　ありがとうございます。続きまして、市長より本審議会宛て諮問がございます。\_\_\_\_\_会長には、諮問書の受領をお願いいたします。

市 長 　（諮問書を読み上げて）

観光諮問第1号 平成26年3月20日 水戸市観光審議会 様 水戸市長 高橋 靖

水戸市観光基本計画の策定について（諮問）

本市の観光行政は、平成17年度に観光振興の指針となる「水戸市新観光基本計画」を策定し、各施策の展開を図ってきたところであります。

しかしながら、多様化する観光客のニーズや交通体系の変化等により、より魅力ある個性に富んだ観光施策を推進することが必要となってきております。

このことから、水戸市観光審議会条例第2条の規定に基づき、「水戸市観光基本計画」の策定について貴審議会の御意見を賜りたく諮問いたします。

—————諮問書交付—————

執行機関 　ただ今市長より諮問がありましたとおり、本審議会におきましては、今後の観光施策の指針となる観光基本計画の策定につきまして御審議いただくものでございます。忌憚のない御意見を頂ければと思っております。

なお、市長は、この後の公務のため、ここで退席させていただきます。

—————市長 退席—————

執行機関 さて、本日の審議会は「水戸市附属機関の会議の公開に関する規程」により公開となっております。公開の方法といたしましては、会議の日時・会議録等を市のホームページなどにおいてお知らせをしております。

会議録の作成のため、会議録署名人をお二方、審議会の中で指名させていただきますのでよろしくお願いたします。

それでは議事に入ります。議事の進行につきましては、水戸市観光審議会条例第6条第1項の規定により、会長に議長をお願いしたいと思います。\_\_\_\_\_会長よろしくお願いたします。

会 長 それでは、議長を務めさせていただきますので、どうぞよろしくお願いたします。審議に入る前に、ただ今、執行機関より説明がございました附属機関の会議の公開制度に基づき、会議録署名人2名を指名いたします。

\_\_\_\_\_委員、\_\_\_\_\_委員以上2名の方を指名いたしますのでよろしくお願いたします。

それでは、審議に入ります。まず初めに、議事の(1)「水戸市観光基本計画の策定スケジュールについて」でございます。

このことにつきまして、内容を執行機関から説明願います。

執行機関 資料の1ページをお開きください。本市の観光行政は、平成17年度に観光振興の指針となる「水戸市新観光基本計画」を策定し、各施策を展開してまいりました。しかしながら、時代の変化とともに、多様化する観光客のニーズや交通体系の変化等により、より魅力ある個性に富んだ観光施策を推進する必要があります。このことから、本市の事業全体の総合計画である「水戸市第6次総合計画」などとの整合性を図りながら、新たな観光基本計画を策定し、観光振興の指針とするものでございます。

資料に掲載いたしました過去の経過を御覧になっていただきますと分かる通り、概ね10年ごとの間隔で、計画を策定しております。その間に、市の総合計画の改定や、茨城県観光基本計画の策定などがあり、そのたびごとに、市の全体方針や、茨城県の観光施策の方針などを反映させてまいりました。今回策定する計画は、「水戸市第6次総合計画」の施行期間と合わせ、平成27年度から平成35年度までの9年間を見越したものでございます。

今回の「水戸市観光基本計画」の策定は、平成25年度、平成26年度の2か年の作業期間で考えており、平成25年度については、基礎調査として、水戸市に訪れる観光旅行者、観光事業に関する関係者等のニーズ・意見を把握するための調査を行いました。この結果から浮かび上がった水戸市の観光を取り巻く課題や特徴について分析し、現在、報告書の取りまとめの段階に入っております。平成26年度については、この報告書の結果を基に、年4回程度開催する観光審議会において、観光基本計画の中身についての議論を行い、並行して行う関係課長等の庁内調整を経て、平成27年度から平成35年度までの「水戸市観光基本計画」の策定を行います。

まず、本日、第1回観光審議会を開催し、基礎調査の結果報告を行い、基本計画策定の前段階となる審議を行います。また、年度末に向け、これまでの作業の結果

を報告書としてとりまとめ、印刷・製本に向けた作業を現在、行っているところがあります。来年度に入りますと、6月頃に、第2回の観光審議会を開催し、観光基本計画の基本方針・コンセプトを含めた素案（骨子案）を提示し、審議を行います。続いて、8月頃に、第3回観光審議会を開催し、前年度の観光産業振興会議で出された意見を取りまとめて各論を作成いたしますので、こちらにつきまして審議いただくとともに、素案（骨子案）について、引き続き継続審議を行います。続いて、8月から11月にかけて、庁内調整のための数回の関係課長会議（庁内検討委員会）を経て、11月に政策会議等を行い、素案（骨子案）の修正を行います。

ページをおめくりいただきまして、2ページを御覧ください。続いて、11月頃に第4回観光審議会を開催し、第1回から第3回までの観光審議会の審議や庁内調整を踏まえ、素案（骨子案）の内容をとりまとめ、その時点での素案（骨子案）の策定を行います。あわせて、計画の推進方策のとりまとめを行います。続いて、12月に、水戸市意見公募手続き制度に基づく意見公募手続き（いわゆるパブリック・コメント）を実施し、観光基本計画の素案（骨子案）に対する市民からの意見を募集いたします。続いて、2月に、最終の取りまとめの審議として、第5回観光審議会を開催し、庁内調整を経た修正素案（骨子案）の審議を行い、内容を確定させ、市長に答申いたします。3月の庁議と議会報告を経て、最終的な「水戸市観光基本計画」の策定を行います。資料に、平成26年度の策定プロセスのイメージ図を載せてございます。「水戸市における観光振興の基本方針等のとりまとめ」、「主要事業（戦略プログラム）のとりまとめ」、「計画の推進方策のとりまとめ」、「パブリック・コメントの実施」など各プロセスに応じて、審議会を開催し、水戸市観光基本計画の策定を進めてまいります。

執行機関からの報告は以上でございます。

会 長 御苦労様でした。このことにつきまして、何か御質問、御意見等がございましたらお願いいたします。何かございませんでしょうか。

—————発言なし—————

会 長 スケジュールについては、この流れで良いということによろしいでしょうか。それでは、こちらにつきましては、このような流れで進めさせていただきます。続きまして、(2)の平成25年度基礎調査結果についてでございます。このことにつきまして執行機関から説明をお願いいたします。

執行機関 資料の3ページをお開きください。

まず、「観光客アンケート調査」の結果でございます。本市観光資源の特徴・課題、観光客の嗜好・傾向を把握・分析し、計画策定の基礎資料とするため、市内観光スポットに訪れた観光客と県外居住者を対象に、観光客アンケート調査を実施いたしました。調査方法については、調査員によるインタビュー形式とし、市内観光スポットに訪れた観光客対象の調査については、平成25年9月15日、日曜日に、偕楽園、茨城県近代美術館、ケーズデンキスタジアム水戸、水戸観光案内所において調査を実施いたしました。県外居住者対象の調査につきましては、平成25年10月12

日、土曜日に、新宿区の下落合駅前、横浜市のセンター北駅前、千葉市の稲毛駅前、浦和市の浦和駅前、前橋市の前橋駅前、宇都宮市の東部宇都宮駅前の計6か所において、調査を行いました。調査結果からは、水戸市観光に対するイメージが、「偕楽園」と「水戸納豆」、「水戸黄門」さま、あるいは「徳川光圀公」の3点に集中していることが分かりました。

続いて、「水戸イメージ調査」といたしまして、水戸の観光に興味を持つ人々の、観光に関するイメージの把握、嗜好、傾向を分析し、計画策定の基礎調査とするため、平成20年4月以降に水戸市の観光課に観光資料を請求された方を対象に、水戸イメージ調査を実施いたしました。調査票を郵送で配布し、平成25年9月2日から9月20日までの期間に、郵送により回収いたしました。また、旅行会社に対しても、全国の観光市場で水戸市が置かれている現状や課題、市（県）外から見たニーズなどを把握・分析するため、平成25年10月1日から10月15日までの期間で調査を行いました。郵送で配布し、ファクシミリにより回収を行いました。それぞれ、26選択肢の中から「観光資源の向上のために必要だと思うこと」複数回答を選んでいただき、さらに、それらの選択肢の中で最も必要だと思うことを選んでいただきました。パンフレット請求者の結果については3ページ、旅行会社の結果については、ページをおめぐりいただいた先の4ページを御覧ください。両方の調査に共通するものとして、「歴史的な街並みづくり」や、「わかりやすい案内地図・標識」、「使いやすい観光ガイド機能の構築」などの案内分野のものが求められている一方で、旅行会社に限って申し上げますと、最も必要だと思うこと一つを選ぶという質問の中で、「新たな切り口の商品開発」を望む声が最も多くございまして、現状から一歩進んだ取組が求められているものと類推されます。

続いて、5ページを御覧ください。各アンケート調査における共通設問の結果について、比較を行いました。「観光のための情報入手手段」については、基本的には、「雑誌・ガイドブック」や「インターネット」が主流となっていることができるかと思えます。「観光について興味ある分野」については「自然・景観」、「温泉」、「史跡」に興味の特化しております。

続いて、6ページを御覧ください。市内の観光資源のうち、「見どころ」について、「訪れたことがあるもの」、「知っているもの」、「魅力的だと思うもの」についてお聞きしました。「偕楽園」、「千波湖」、「弘道館」の、メジャーなもの3スポットに来訪、認知が特化しており、②の県外居住者の方に至っては、「偕楽園」のみについて、来訪、認知が特化している傾向が見られ、それ以外の「見どころ」については、来訪頻度、認知度ともに低くなっております。

続いて、7ページは、同様に、観光資源のうち「物産資源」について、「触れたことがあるもの」、「知っているもの」、「魅力的だと思うもの」についてお聞きしました。いずれも、「納豆」が体験、認知度ともに大きな値を示しており、それに次いで、「水戸の梅」、「あんこう料理」、「梅干し」などの体験、認知度の高さが認められます。

続いて、8ページは、同様に、観光資源のうち「イベント」について、「訪れたことがあるもの」、「知っているもの」、「魅力的だと思うもの」についてお聞きしました。こちらにつきましては、「梅まつり」が他の項目と比べると高い値を示しているものの、全体的には、来訪、認知度ともに低い傾向となっておりまして、「梅まつり」以外のイベントの来訪、認知度は低水準に留まっております。

続いて、9ページを御覧ください。先ほどの「水戸市観光基本計画」の策定スケジュールの中においても、少し御説明いたしました。今年度の8月と11月の2回、「観光産業振興会議」の「専門部会」を開催いたしました。今後の観光振興に向けた意見交換を行った中で、各部会において、様々な提案や意見が出されました。第1回の観光産業振興会議においては、近隣市町村との連携強化、観光資源の掘り下げ、市民や観光客が触れ合える飲食可能な休憩所、市内周遊バス、駐車場の必要性、市民の知識向上、宿泊客の増加の必要性などが指摘され、第2回観光産業振興会議においては、納豆料理を扱う店の出店、神社・仏閣などのパワースポットとしての展開強化、他地域からの学生の活用、マナー等の市民意識向上、歴史的要素の活用、案内板や観光パンフレット等の観光情報の充実、外国の方にも分かりやすい案内板の充実等が挙げられました。

執行機関からの説明は以上でございます。

会 長            どうも御苦勞様でした。このことにつきまして、何か御質問、御意見等がございましたらお願いいたします。また、この調査結果を踏まえて、どのようなことをやれば良くなるのかというような御意見も含めまして、頂ければと思います。

委 員            具体的に調査結果を踏まえて、こうした方が良い、ああした方が良いというようなことは次回以降提案できるようにしていきたいと思えます。

まず、一点目として、ほかの委員の皆さんも心の中で感じているとは思いますが、アンケート調査の母数が非常に少ないのではないかと思います。例えば、資料の3ページに概要がありますが、市内の観光スポットを訪れた方に対する調査では、全部含めても300人に満たない調査数です。特に水戸の中心的な観光地と思われる偕楽園であっても39票で、ケーズデンキスタジアムの99票についても、非常に少ない。県外居住者についても、このような調査数であるので、議会の担当委員会の立場としては、委員会でこの調査報告書が出た時に、恐らく、各議員から、それに対して、どのように執行部は考えるのかということ指摘されるのではないかと思います。例えば、市内の各ホテルの協力を得て、宿泊者の皆さんにチェックアウトの時にでもお渡しいただくというような方法で宿泊客と日帰り客というようなアンケートの取り方があったのではないかと思います。どのような受け止めで、これを市民からの基礎調査としてお考えなのか。

もう一点目として、今後の提案という意味で、このアンケートを今後の基本計画策定の基礎資料とするだけでなく、今後9年間を見通した中での基本計画であるので、民間企業さんで常にやられているように、定期的な満足度調査を市内の宿泊者や来街者の方を対象に行い、当審議会における事業の進捗等の報告の資料の補強としていけば、審議の時にも役に立つのではないかと思いますので、そうした方向性についてもお伺いをしたいと思います。

執行機関        今の\_\_\_\_\_委員の質問にお答えいたします。今回、皆様にお示ししている資料は、本日の審議会に間に合わせるための、あくまでも途中経過の報告でありまして、現在も、9月に行ったアンケートに基づいて、梅まつり期間中のアンケート調査を実施しているところでございます。また、ホテルにつきましても、旅館組合に御協力いただ

き調査を行い、約 90 票の回答を頂いておりまして、こちらの調査結果につきましても、最終の報告書には加わってくるようになっております。

委員 今日、この調査結果に基づいて、どの程度までの意見を我々が出すことを執行機関では想定しているのか。具体的な意見は、あくまでも全ての結果が出揃ってから審議を行うということですか。

執行機関 まずは、今日の時点での御意見を頂き、最終の報告書については、2回目の審議会の時に出ささせていただきます。そこにおいても議論は深めたいと思いますが、私どもは、来年度の4月に観光基本計画の策定業務委託契約を結び、次回の審議会においては、今日頂いた皆様の意見、それから今年度の観光産業振興会議で頂いた意見などを踏まえて、基本計画のメニューに具体的にこういったものを入れてくださいといったような計画の素案をお示ししたいと考えておりますので、今日出た意見についても、来年度の策定業務に盛り込んでいきたいと考えております。

委員 私たちの業界では、聴取率調査というものをよくスポンサーから求められるが、聴取率調査を専門業者に委託すると、クライアント（委託者）にとって都合の良い時間帯、都合の良い地域、都合の良い内容で作ってしまう。それでは公平ではなく、委託料ばかりが何百万とかかってしまうので、当社では、そういったところには頼んでいないが、重要なのは、聴取率調査で何を知りたいのかというところをきちんと踏まえていないと、「みんなはどう思っているのですか」といったような漠然とした質問になってしまう。問う側が、具体的にどういう答えが欲しいといった明確な目的を出していかないとアバウトな調査になってしまう。今回の調査も、9月15日というような時期については、なぜ、こんな時期にとったのだろうと思う。別に、その日に何か行事があるわけではなければ、人がたくさん来ているわけでもない時に、アンケートをとることに何の意味があるのか。今、梅まつりでもアンケートをとっているとの説明であったが、梅まつりに来てくださっている方々に、どういう答えを貰いたくてどんな質問をしているのか。水戸観光協会のホームページがあるが、そこへのアクセス数がどのくらいあるのでしょうか。皆さんに忌憚のない意見を聞きたいのであれば、水戸観光協会のホームページにアンケートを出して、答えてくださった方のうち何名かに水戸納豆をプレゼントとか、プレゼントの特典を載せた上で忌憚のない意見を伺うなどの方法のほうが、フェアで正しい答えがもらえるのではないかなと思うがいかがでしょうか。

執行機関 \_\_\_\_\_委員の御指摘につきましては、ごもっともな部分もございますが、我々としたしましては、梅まつりのみではない通年型観光を目指しておりまして、あえて、比較のお客さまの少ない時期にアンケートを行い、その時期に、実際のところ、どのくらいのお客さんが来て、どのように考えられているかということ調査したところでございます。非常に申し上げにくいことではありますが、本来は、そのような調査を今までもやってくれば良かったところではありますが、今まで、予算等の関係もあり、そのような調査をやってきておらず、後手に回っていたところでございます。ですので、今回行ったアンケート調査を活用して、今後も継続して調査を行ってまいりたい



と考えておりました、今回と同じ様式で、今後数年間、毎年、アンケートを行っていきたくて考えているところがございます。ウェブサイトでのアンケートにつきましても、今は、このような時代ですので、考えてまいりたいと思います。

委員 インターネット形式の調査は、あまり意味がないと個人的には思います。

委員 先ほどの委員がおっしゃっていた部分と同じ部分もあるのですが、何でこの取り方なのかというのがある。それによって答える方向性が変わってくる。アンケートのとり方も、何を聞いて、どうまとめたのかということが見えてこない。一般の方にとってアンケートと旅行者にとってアンケートは、「歴史的景観」や「標識を見直して」など、私たち住民が望んでいることと何ら変わらないと感じた。こうして欲しいということは、今までも私たちは言い続けている。今回、アンケートをとって、その先に何を求めたいのかという点に持っていかなければならない。今の話だと、アンケートも初めてだという話であるので、かなりびっくりした。非常に遅れているのではないかと思ってしまう。今さら言う話ではないが、私たち市民の意見と同じということも大きく感じて、これから取り組んでいかなければいけないと感じました。

執行機関 今回のアンケートの項目と方法につきましては、私ども観光課が行っております「観光産業振興会議」の5つの各部会の部会員の皆様と御協議をした上で決定させていただき、それに基づき、アンケートを行ったという経緯がございます。ただ、私どもは、10年前にアンケートを実施して以来、その後、アンケートを実施していなかったということが非常に課題でありましたので、今後は継続して行っていくので、それについては、今後の反省点とさせていただきます。

委員 そうすると、その時のアンケートの結果と今回のアンケートの結果で変わったところというのはありますか。おそらく何ら変わっていない気がします。そこが大きいと思います。やはり、そのためにみんな、一所懸命、ボランティアや、関係団体や、観光協会などの経営者の方なども一緒になってやるわけですから、そういう意識でお金を持っていかないと何度やっても同じになってしまうと思います。今回は、市長さんも観光交流人口450万人という目標を挙げているわけですから、せっかくの会議なので、より具体的なものが話し合わせ、実のあるものにできたらいいなと思っております。

執行機関 今の\_\_\_\_\_委員の御提案のように、具体的な御提案を頂きまして、それを踏まえまして、観光交流人口の増になるような施策、事業を計画に入れていきたいと考えております。

委員 アンケート自体にも、母数が少ないなどの問題はいろいろありそうではありますが、資料3ページの図と資料4ページの図を見比べてみたところ、3ページの資料はどちらかという対象者は、お客さんということだと思いますが、こちらで指摘されているのは、情報を分かりやすくしてほしいというような情報系の話と、回れる仕組みが欲しいというような点と、郷土食の話などが挙げられています。これはこれで大事な

ことでありますが、次の4ページのグラフと比べてみますと、4ページのグラフにおいても、情報、回れること、食のことは言うておりますが、こちらは旅行会社が対象とのことであるので、水戸の観光の仕掛けとして何が足りないかといことで回答をくださっているのだと思います。前のページのグラフと比較して目立ってくるのは、例えば「周辺市町村との連携」とか「体験ができるもの」であったり、宿泊を絡めたものであったり、ツアーのパッケージの話が指摘されているのだと思います。先ほどの高橋市長の挨拶でも、「これとこれの点を線でつないで」という話がありましたが、そのことそのものをはっきり言っているのだと思います。最後にある「新たな切り口の商品開発」というのは、そこをちゃんとやってくれという（旅行会社からの）主張なのだと思います。ですから、広域連携の話もそうではありますが、水戸の観光は、単発物が多いという印象をいらっしゃる（個人の）方も旅行会社も思っているのだと思います。例えば、ホーリーホックの試合に来たとしても、そのまま試合だけ見て帰ってしまう。その後どこか回るといことは、案内もない。ホーリーホックの試合に来るといこと自体は、スポーツ観戦なので観光ではないかもしれないが、それを観光客にしていく仕組みがない。そういうところが課題なのではないかなと思います。この観光基本計画でも、1個1個の素材というのは、良いものがたくさんあるのだけれども、それをどうつないで、パッケージにして水戸のPRができるかという点が期待されているのではないかなというような感じをもちました。

委員

もう、資料をこれから集めなければならないという時は終わっていると思います。もう先に進まないで、いつまで経っても足止めであるので、今、\_\_\_\_\_委員がおっしゃったように、どういうふうにしていくのかということが重要です。例えば、私たちが（仮に）旅行者の立場で水戸に来たときに、どう見えるのかという視点がない。ほかの知らない場所に行ったとき、さあどうするかといったら、観光のことを知りたかったら観光案内所に行くだろうが、水戸の場合は、それがどこにあるのか分かりにくい。お土産を買おうかなとなっても、どこに行けば売っているのか分からない。車で来るお客さんばかりでないだろうが、マップはどこにあるのか。市民の私たちだって知らないのに、観光客が知るわけがない。そういうことを考えると、もう、インタビューで資料を集めるとかアンケートでどうするかということよりも、先に進みましょう。街中も、虫食い状態になってしまっているが、私は、随分前に、提案させていただいたが、赤のれんや青のれんで、それぞれ近代的な内容は置いておいても、街中をそぞろ歩ける雰囲気というのは、どのようにでも作れると思う。そういう努力をしないで、街中に人が来ないといっても、当たり前だ。私たちが観光客として行きたい街づくりをどうすればいいのかということで私たちは集められていると思っているので、先に進みましょう。先に進んでください。お願いします。

委員

資料の3ページと4ページを見ていると、3ページのアンケートの結果は、いわゆるお客様が回答しているもので、4ページの結果は、お客様を連れてくる旅行会社の回答かと思うが、どなたが答える内容かによって答えが変わってくる。資料に書いてある調査地点は、アンケートをとった場所かと思うが、アンケートに答えてくれた方がどこの人なのか、どういうところに住んでいるのか、答えた内容がどういうことを答えてくれたのかといったことをお聞かせいただきたい。

執行機関            こちらについては、それぞれのアンケートについて、回答者の属性等も含めて分析した資料はあるが、分量の関係もあるので、今回お配りした資料では省略させていただきました。こちらについては、報告書の中身に盛り込まれますので、第2回の観光審議会の際に皆様にお配りすることで考えております。

委 員                私が申し上げたいのは、アンケートをとって、その結果をどのように解析するのかということです。その解析の仕方によって、どのような計画をすれば良いのか、どのような対応が求められるのかといったようなことが分かる。3ページのグラフについても、若い世代が答えたこと、年配の世代が答えたこと、男性が答えたこと、女性が答えたことなどが分からないと、アンケートが示す内容も分からない。その辺りの解析が大きな要になるのではないかと。

会 長                その資料というのは、既にまとまっているのですよね。

執行機関            まとまっております。

都市環境計画研究所    今回、このアンケート調査をお手伝いさせていただきました都市環境計画研究所の\_\_\_\_\_と申します。お世話になります。このたび、市内観光スポットに訪れた観光客対象調査については、いろいろと御指摘をいただきまして、まことに申し訳ございません。先ほど執行機関からお話がありましたように、水戸市としては通年型観光を目指しているということから、あえて閑散期を狙ってアンケートを行おうということで、観光産業振興会議の皆様方とお話をし、この時期に設定をさせていただきました。ただし、この時期の特徴として、資料の3ページの上のところに「天候：雨」というのも書かせていただいております。ちょうど9月15日、人の手配の関係で、どうしてもこの日に行うというようなしびりがあったところ、台風が来襲いたしまして、萩まつりの時期であったので、借楽園は天気さえ良ければもう少しサンプル数をとれたところだったのですが、お客様が少なかつたため、このような結果になりました。とりまとめの時期や予算の面といった点もあり、なかなか再度とり直しということではできなかったという面もあり、今回、梅まつりの時期に、再度、お客様にアンケートを御協力いただいているというような状況でございます。

今、御指摘いただきましたパンフレット請求者の方についてですが、こちらは、上の2つの四角(■)の調査とは別のやり方でアンケートを実施いたしました。これについては、先ほどの説明と重複いたしますが、平成20年4月以降に水戸市の観光課に対して観光パンフレットを請求された方がいらっしゃいます。昨年の9月までに約1,000人の方々がお申し込みをされているのですが、その方々にパンフレットやその時期のイベントなどをお知らせしつつ、アンケートに御協力をいただいたところなのですが、この44%の回答率406票のうち、75%が60歳以上の御高齢の方というような傾向でございました。実際、観光スポットの調査におきましても、若い方というよりは、比較的、40代、50代以上、むしろ60代以上の方が結構多く、それまで「歴史資源」などで観光戦

略を進めていることもあり、どちらかというとなクティブシニアの方が多いいような傾向が出てきたのかなというように感じております。

それから、先ほど、委員さんから御指摘いただきました街中との連携につきましては、水戸市の商工課で、来年度、「中心市街地活性化基本計画」というものの策定を予定していると伺っており、街中観光と中心市街地の再生・活性化と密に連携していくことになるかなと思っており、それが有機的な連携というように形になっていき、いろいろな戦略を打っていく上での目印となっていくのではないかなと感じております。

委員 具体的な質問をいたします。この偕楽園、近代美術館、ケーズデンキスタジアムでもって答えてくれた方がいます。その方たちがどのような回答をしたのか、その傾向はどういうふうであるのか。

執行機関 ただ今の\_\_\_\_\_委員の御質問ですが、その詳細につきましては、次回、より詳しい資料を出させていただきますので、アンケートの詳細についての回答は、次回に御説明をさせていただければと思います。

会長 ちょっと私も感じたのだが、当日にもらって、初めて見る資料では、委員の皆様の英知を集めるには分析などの時間が足りないので、事前に資料を送付する方が良いと思うのだが、いかがでしょうか。また、次回、いつやるのかという点を確認したい。

執行機関 資料につきましては、次回から事前配布とさせていただきたいと思います。今回は、資料の事前配布ができませんでしたので、今回の資料はお持ち帰りいただきまして、お手元に配布いたしました意見様式にて、4月18日までに、この資料を見ての御意見や、新たな施策、新たな事業、こういうものが良いのではないかといったような御提案などを御提出いただければと思います。

委員 歴史的な街並み、郷土食の普及、分かりやすい観光案内板など、アンケートの結果は、水戸市内の方は誰でも思っていることだ。誰でも分かっていることなのだから、具体的に、今後、これでもってどういうふうにするかということ議論していかなければならない。歴史的な街並みづくりをすればいいといっても、予算を付けたとして、今現在、そのような整備するような水戸の歴史的な街はあるのかということになるので、例えば、周辺で、土蔵の白壁を整備してPRしているところがあるが、それを売りにするのか、インターネットを使った情報発信をどんどんやっていくのかといったような具体的な議論をやっていかなければならない。他の観光地に行くと、観光案内板が整っているけれども、水戸にはない。自分の住んでいるところの地理は分かっているので案内板がなくても気にならないが、他の観光地に行くと、やはり案内板がないと困る。水戸に他の場所から来て、偕楽園の案内板が分からず、通り越して行ってしまうというようなことも現実に聞かれます。それを具体的にどうするか。自分たちが他の観光地に行ったときにこれが必要だというもの、水戸にはあるのかないのかということをきちんと方向性を付けて、計画の中に

入れていかなければならないと私は思います。

委員

ちょっと唐突であるが、商店街事業というのは、全国いろいろなところで行われている事業の真似が多い。ああいうところでこういうのをやっているから、まずはそれを真似してみようというような感じで、それから、結果を見て継続してやっていくかを判断する。アンケートは、私も初めて資料を見たのだが、設問を考えられた方は大変だったのではないかと思う。全国的に、観光先進都市というのは、たくさんあるかと思うが、そういうところでも同じような事業をやっている、あるいは、そういうところで、これが良かった、あれが良かったという事例がインターネット上にもたくさん挙がっていると思う。そういう情報を収集して、その中から見えてくるもの、水戸にないもの、それを比較検討することで、いろいろ、また見えてくるものがあるのではないかと思う。

水戸の観光については、意見もいろいろあるが、私のところでは、商店街マップというものを毎年作っており、今回、14号が発行になる。それには、少なくとも2.4キロメートルぐらいの商店街の中にある観光施設を全て網羅して記載しているつもりである。なかなか皆様に手に触れていただく機会がない。それから、平成13年に梅香トンネルが開通したときに、おしゃべり黄門像というものを皆様の御協力をいただいて建立したが、私が毎日見て回っている感じだと、その印籠のボタンを押して黄門さまの声のメッセージを聞いたり、写真を撮ったりしている観光客の方が、随分お出でになっている。

そのような手近な観光資源は、水戸にも、まだまだたくさんあるので、そういうものを、他都市の資料も集めて、どういうふうにすればどのような効果が出るのだろうかというようなことを端的に研究するのも良いのではないかと思います。

会長

そういう方向付けなども必要ということかと思えます。さて、今回は、初回ということもあり、5時も回りましたので、こちら辺でお開きにしたいと考えているところではございますが、先ほど執行機関から説明がありましたように、今日言い足りないことなどがございましたら、こちらのお手元の様式で4月18日までにFAXを流していただければと思います。

委員

このFAXの様式を見ると、「スケジュールについて」と「調査結果について」の二つになってしまっているが、今の皆様のお話の中に出たような、今後の方向性に関するもの、例えば、こんなふうにやったらとか、事例研究してはとか、この項目の枠をはみ出したものも記載してよろしいですか。

委員

良いのではないですか。(1)、(2)の項目に捉われず、気が付いたことも含めて、そういったことも書いた方が良いのではないか。

会長

そういうことでよろしゅうございますでしょうか。

執行機関

それで結構です。

会 長 今日、そういうことで、時間も限られておりましたが、次回からは、必ず、一人一回は発言していただくような形で会議を進めていきたいと考えているところがございます。今後も皆様の忌憚のない意見を頂いて、観光振興の励みになればと考えております。本日はありがとうございます。以上をもって、私の議長の役目は終了し、執行機関にお返しいたします。

執行機関 執行機関としては特にはございません。

会 長 次回は、どのような形でいつ頃開催になるのか。

執行機関 次回の開催につきまして御説明いたします。現在、私どもでは、皆様から頂く御意見、観光産業振興会議の各部会で頂いた御意見を踏まえて、観光基本計画の策定をコンサルタント会社に委託したいと考えております。その素案が、契約が順調にいきますと、6月上旬から中旬ぐらいに出てくると思いますので、それは、まだ、骨子の段階になるかと思いますが、出来上がり次第、皆様に郵送で送らせていただき、皆様に見ていただいた後に、2回目の観光審議会を開きたいと思っております。6月中の開催になるかと考えております。日時につきましては、調整いたしまして、後日、御連絡いたします。

会 長 ちょっと間が抜けてしまうなという感じがいたしましたので、次回は、時間に余裕をもって、喧々諤々、議論を行ってまいりたい。

委 員 今現在も、平成17年策定の「水戸市新観光基本計画」があるかと思うが、これを踏まえて、継続するもの、今までやって駄目だったもの、新たに行うものなどの検討を行うのではないのか。執行機関の説明だと、アンケートに基づき、ゼロから組み上げるような印象で聞こえたのですが、今の計画とはまったく関係なくしてしまうのか。

執行機関 現行の計画で「水戸市新観光基本計画」というものがございまして、そちらの概要と達成状況を、委員の皆様になんか送らせていただきます。また、皆様からいただく御意見もまとめて送らせていただいた上で、6月の第2回観光審議会を迎えたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

会 長 それでは、そういうことでよろしゅうございますでしょうか。

委 員 次回は、時間をもう少しゆったり取ってほしい。

会 長 私としても、時間が長い方がいろいろな形で意見が出るので、良いかと思えます。

委 員 アンケートに基づいてゼロからやるというよりも、既存の計画があるわけだから、それを見直し、具体的にこうした方が良いというような議論をした方が良い。当時と同じような意見が出てきてしまう可能性もある。

会 長

次回は、午後2時など、早めに始めて、白熱した御意見でまとめていきたいと思  
いますので、よろしく願いいたします。本日は、以上をもちまして終了させてい  
ただきます。ありがとうございました。

執行機関

以上をもちまして平成 25 年度 第1回水戸市観光審議会を終了とさせていただ  
きます。皆様ありがとうございました。